

# 声 のコーナー

## 「女が変わる、 男も変わる」



酪農経営：新発田市大友 宮野 智子氏

8月の上旬、全国から酪農女性が東京に集まり日本酪青研主催(略称)による、「ゆとりある経営をめざして女性の役割」という研修会に参加し、そこで基調講演や検討会の内容を紹介させて頂き、皆様の経営、生活のヒントになれば幸いです。

講演は、全国酪農協会業務部長の高井先生で、女が変わる、酪農が変わる、村が変わると女性の意識改革を強く話され、ゆとりある経営を達成するためには①家族経営協定の重要性。これからは特に財産に関する事も内容の一部に入れた方が良く、夫を事故で失い、相続争いにより妻には結局何も残らず全てを失った事例を上げて強調。②労働報酬は、「家業だから貰えなくても仕方が無い。」という考え方は捨て、自分で働いた分は毎月の給料という形で認めてもらうことが大切。③後継者育成の為に母親が綺麗であることが大切。例え牛舎仕事であろうとおしゃれする心を忘れず、格好良く仕事することで酪農のイメージが変わる。と述べられました。

仕事から全国を回って農家の声を聞くことも多くあり、先生自身も女性なので、悩みを相談されることもあると全ての事例を挙げて話されたので大変印象深いものでした。

検討会では①妻であり母である女性は、家族の中心で明るく皆んなを囲む太陽的存在であるべきで、仕事に対してプライドと向上性を持って子供に親の姿勢を見せることが大切である。時には親から子へと継承する重要性を話すことも親の責任である。②積極的に酪農の良さをアピールし地域社会とのより良い関係を創る為にも、子供達や学生を農場に受け入れて体験学習してもらう事。③家族経営協定は本当に必要なのかと、改めて話し合い家族の中で

協定を結ぶことにより、返って人間関係を難しくするのではないかと。と言う声もありましたが、今までの生活を見直す機会とし、より良い夫婦、親子関係を築くプラス思考で、何よりも次の世代の若い後継者の為にも協定を結ぶ文章化することが必要で、時々において内容を見直すことが必要で、より良いものにしておく事が大切であると言う考えが示されました。

以上のように全て結論を出せる話ばかりではないのですが、皆さんの前向きに生きる姿勢に感動し自身の励みにもなった研修でした。住む地域、環境も年齢も皆違い、家族の寝たきりの両親を抱えている人、痴呆の姑さんがいらっしやる方、子供さんが障害児であるとおっしゃる人、自身が大病して、やっと仕事に復帰したばかりという人と皆さん色々な悩み、問題を抱えているのですが、介護ヘルパーさん、酪農ヘルパーさん、家族の協力を得ながら参加し、皆本音で話し合い、新しい友が全国に出来たことに喜び、新しい考え方を発見し、自分の生活に経営に生かそうと改めて感じ合った3日間でした。農業は命を繋ぐ大切な職業です。にもかかわらず、4Kと言われ、農家の減少を毎年のように言われ続け、何か夢や希望の無い職業に思われていると感じるのは私ばかりではないと思います。農家自身がマイナス思考をしては、将来は決して明るくなりません。皆問題や不安はあると思いますが、それを外に出して行くことが第一歩だと思います。女が変われば、夫も変わります。何事も行動することが大切です。講演の中に不良お婆さんの勤めというのがあったのですが、(良く働き、遊びも沢山する人)人生の中で働くことは重要です。しかし、そればかりでは人間生きて行けないです。良き人生を重ねるためにも色々な事に挑戦しましょう。男女共同参画社会をめざしてと言われている昨今、男性の意見を求めることは多いのですが、「貴女は、どう思われますか。」と問われることは、現状ではほとんどありません。女性の意見や考えを述べることを機会を設けて頂けるよう関係機関の皆様によりしくお願い申し上げます。